

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI米国小型成長株ファンド（愛称：グレート・スモール）」は2025年11月25日に第12期決算を行いました。

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第12期末（2025年11月25日）

基準価額	25,553円
純資産総額	1,134百万円
第12期	
騰落率	39.7%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBI米国小型成長株ファンド （愛称：グレート・スモール）

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第12期（決算日：2025年11月25日）

作成対象期間（2025年5月27日～2025年11月25日）

 **SBI Asset Management**

**SBIアセットマネジメント株式会社**

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧ください。

<https://www.sbiam.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

（2025年5月27日～2025年11月25日）



期 首：18,294円

期 末：25,553円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率： 39.7%

（注1）当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・利下げ観測の高まり
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・対円で米ドルが上昇したこと

## 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派的な姿勢
- ・景気後退懸念の高まり
- ・トランプ政権の関税政策による不確実性の高まり
- ・対円で米ドルが下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

(2025年5月27日～2025年11月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	173 円	0.786 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 97 )	(0.441)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 73 )	(0.331)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 3 )	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	20	0.091	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 20 )	(0.091)	
(c) そ の 他 費 用	63	0.284	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 39 )	(0.179)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 7 )	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	( 16 )	(0.072)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	256	1.161	
期中の平均基準価額は、21,988円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

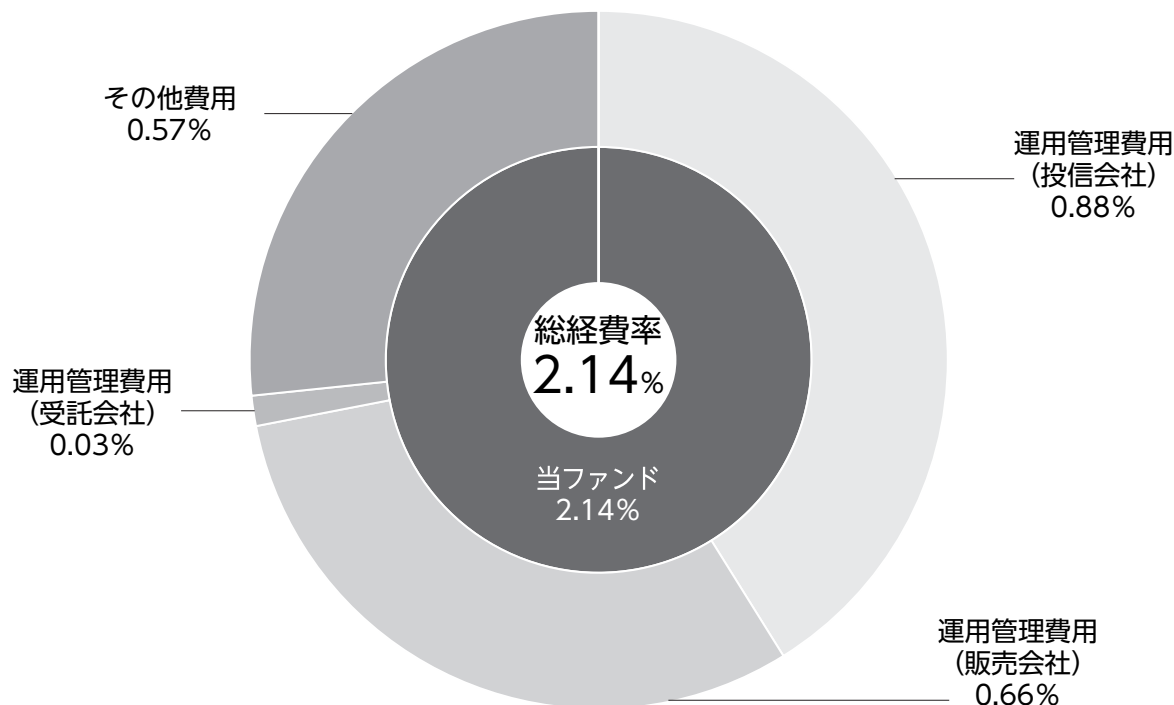
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## （参考情報）

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



（注1）上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

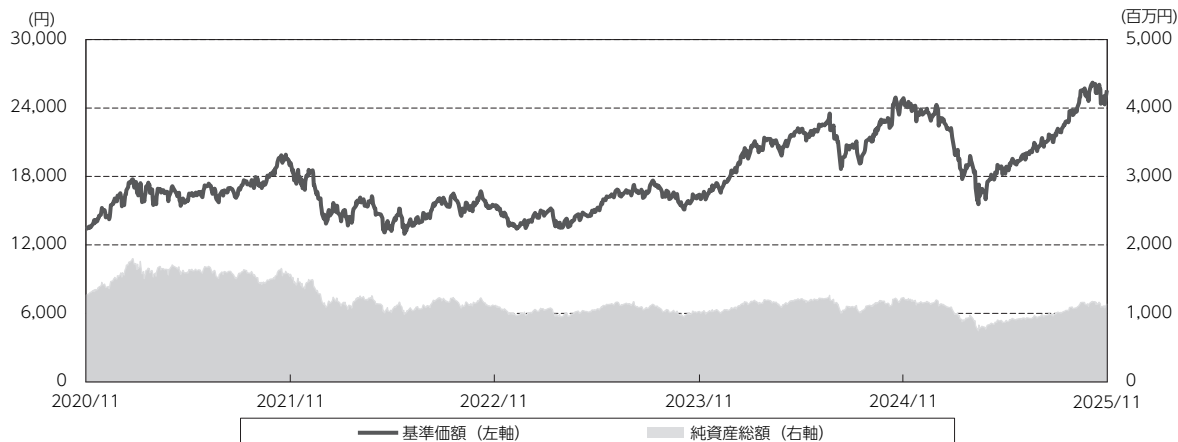
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。実績報酬は、各期末時点の運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価ですが、他の費用と同様に年率換算しています。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年11月25日～2025年11月25日)



(注1) 当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2020年11月25日 決算日	2021年11月25日 決算日	2022年11月25日 決算日	2023年11月27日 決算日	2024年11月25日 決算日	2025年11月25日 決算日
基準価額 (円)	13,395	19,218	15,417	16,401	24,773	25,553
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	43.5	△19.8	6.4	51.0	3.1
純資産総額 (百万円)	1,265	1,570	1,112	1,025	1,226	1,134

(注1) 当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

**投資環境**

（2025年5月27日～2025年11月25日）

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。

**<米国株式>**

米国株式市場は半期を通じて強気相場が続き、4月初旬の安値からの堅調な上昇が持続しました。米国小型株のコア指数であるラッセル2000指数は、この半年間で米国大型株のS&P500指数を上回りました。両指数とも10%台半ばから後半の堅調なリターンを記録しました。ラッセル2000成長株指数は、ラッセル2000指数をわずかに下回りましたが、S&P500指数を上回りました。

市場の強さの主な要因は、連邦準備制度理事会（FRB）の金融緩和への転換でした。8月22日に開催されたジャクソンホール年次シンポジウムで、パウエル議長は、労働市場におけるリスクの高まりを認識し、連邦公開市場委員会（FOMC）の焦点の転換を示唆しました。その日、株式市場の大幅な上昇を後押ししたパウエル議長の演説の一節は、次のとおりでした。

「政策が引き締め領域にあることを踏まえ、基本シナリオとリスクバランスの変化は政策スタンスの調整を正当化する可能性がある。」つまり、FOMCが9月の会合でフェデラルファンド金利を引き下げる可能性が高いことを示唆しました。実際、その1か月後に利下げが実施されました。重要なのは、ジャクソンホールでの講演以降、長期金利（例：10年物・30年物国債利回り）が低下している点です。これは2024年後半の反応とは対照的で、当時はFOMCの緩和姿勢を受けて長期金利が上昇していました。

企業収益もこの期間の市場を支えるもう一つの柱となりました。大型株の収益は改善が続けていますが、小型株の収益予想も加速しています。

さらに、M&A活動とIPO市場は、長い停滞期を経てともに活気を取り戻しました。

上記要因が相まって、期間中は多くの個別銘柄が好調に推移し、市場の広がりが改善しました。特筆すべきは、バイオテックを含むヘルスケアという主要な出遅れのセクターが好調に転じたことで、これは市場を主導する株の広がりを示す好例です。

## &lt;為替&gt;

当期、米ドル／円相場はドル高円安に動きました。期初、米ドル／円相場は143円近辺で始まり、前月4月初旬にトランプ米大統領が相互関税を発表し、リスクオフの動きが強まったため、140円台の円高水準が続いていました。市場の混乱を受け、その後、トランプ大統領が一部関税の延期を発表するなど緩和的な姿勢を示すと、ドルを買い戻す動きが強まりました。7月に日米の関税交渉が合意したものの、米国雇用統計の悪化と関税のインフレへの影響の綱引きとなり横ばいで推移しました。10月以降は、米国のインフレ懸念は根強く、米利下げペース鈍化との見方も見られるなかドル買いが優勢となり、また、日銀の利上げに懐疑的な姿勢を示していた高市氏の首相就任でドル高基調が続き、1ドル156円近辺で期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2025年5月27日～2025年11月25日)

## &lt;当ファンド&gt;

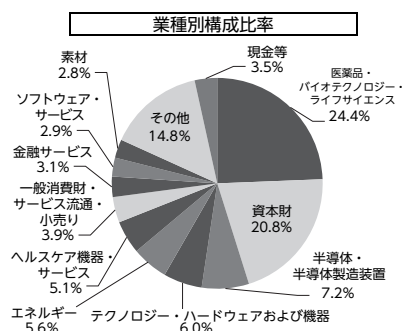
主要投資対象であるSBI米国成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

## &lt;SBI米国成長株・マザーファンド&gt;

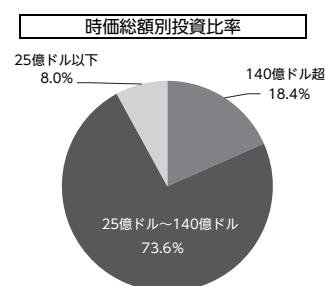
主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム（相場の勢い（強弱）や方向性を判断する指標の一つ）等に着目し、原則として80～120銘柄程度に分散投資し、運用いたしました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっています。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。



※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2025年5月27日～2025年11月25日）

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

**分配金**

（2025年5月27日～2025年11月25日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第12期
	2025年5月27日～ 2025年11月25日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	15,553

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

### <SBI米国成長株・マザーファンド>

当該投資信託の運用再委託先である、ドリーハウス社は、以下のようにコメントをしています。

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドの実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントが和訳・編集したものです。

### 【米国株式市場の見通し及び投資戦略】

今後の見通しについては、市場の見通しはポジティブです。

経済見通しは複雑ではあるものの、全体としては依然として前向きです。

建設支出、インフラ支出、AI設備投資、公益事業設備投資はいずれも堅調であり、住宅部門と低所得層消費者の弱さを相殺しています。労働市場に漸進的な弱さがみられるものの、経済は非景気後退的なトレンドで成長しています。労働市場の漸進的な弱さは、AI導入、移民政策、関税、特定産業におけるスキルミスマッチによる雇用減少が要因と考えられます。労働市場は今後の主要な経済リスクの一つではありますが、現時点では新規失業保険申請件数と解雇件数は低水準で推移しています。

関税は年初に主要なリスク要因であり、現在もマイナス要因として残っています。しかし、企業が対応を進めたことで、市場は関税リスクをほぼ織り込み済みです。関税による利益予想や経済・インフレへの逆風は、ほぼ織り込まれているように思われます。

米国市場は、景気後退を伴わないFRBの利下げ時には堅調に推移する傾向があります。具体的には、1980年代以降、FOMCがフェデラルファンド金利を引き下げた際に景気後退が発生しなかった場合、S&P500種株価指数は12か月後に毎回上昇し、平均18.2%の上昇率を示しています。一方、FOMCが利下げを実施した際に景気後退が発生した場合、市場は下落し、平均2.7%の下落率となっています。

## お知らせ

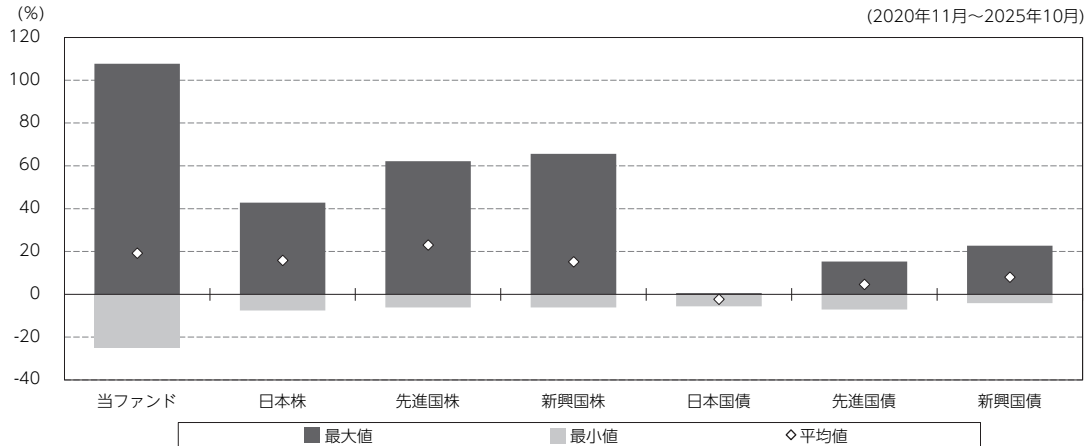
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限（設定日：2019年11月29日（金））	
運 用 方 針	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当 フ ァ ン ド （ ベ ビ ー フ ァ ン ド ）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マ ザ ー フ ァ ン ド	米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド （ ベ ビ ー フ ァ ン ド ）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。なお、マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
	マ ザ ー フ ァ ン ド	原則として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分 配 方 針	年2回（5月と11月の各25日。休業日の場合は翌営業日）決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	107.7	42.8	62.2	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 24.9	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 5.6	△ 7.1	△ 4.1
平均値	19.2	15.8	23.0	15.1	△ 2.3	4.6	8.0

（注1）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注2）2020年11月から2025年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

（注3）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数  
先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）  
新興国株…Morningstar 新興国株式指数  
日本国債…Morningstar 日本国債指数  
先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）  
新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2025年11月25日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第12期末
SBI米国成長株・マザーファンド	% 97.5
組入銘柄数	1銘柄

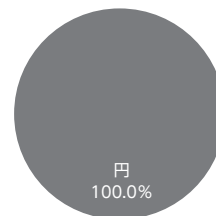
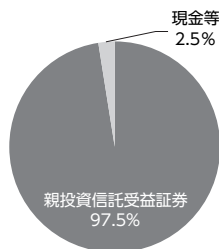
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

## 純資産等

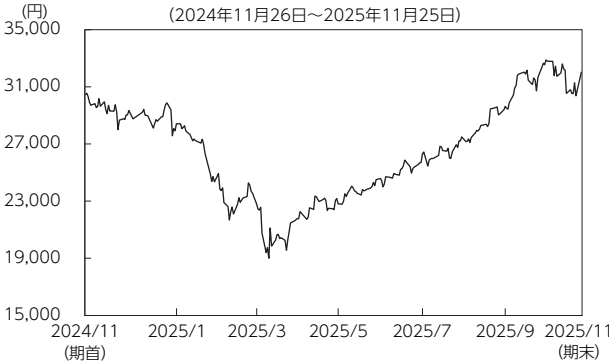
項目	第12期末
	2025年11月25日
純資産総額	1,134,342,724円
受益権総口数	443,909,693口
1万口当たり基準価額	25,553円

(注) 期中における追加設定元本額は24,835,777円、同解約元本額は55,165,777円です。

組入上位ファンドの概要

SBI米国成長株・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年11月26日～2025年11月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	47円 ( 47)	0.177% (0.177)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保管費用)	134 (134)	0.504 (0.504)
合計	181	0.683
平均基準価額は、26,620円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2025年11月25日現在)

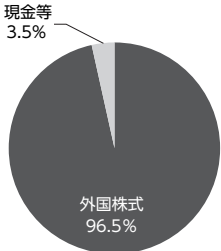
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	GUARDANT HEALTH INC	ヘルスケア関連	米ドル	米国	2.6
2	CRINETICS PHARMACEUT	医薬品等	米ドル	米国	2.0
3	BRIDGEBIO PHARMA INC	医薬品等	米ドル	米国	1.7
4	CURTISS-WRIGHT CORP	資本財	米ドル	米国	1.7
5	SPX TECHNOLOGIES INC	資本財	米ドル	米国	1.6
6	FABRINET	テクノロジー・ハードウェア	米ドル	米国	1.5
7	STERLING INFRASTRUCT	資本財	米ドル	米国	1.5
8	NATERA INC	医薬品等	米ドル	米国	1.4
9	RHYTHM PHARMACEUTICA	医薬品等	米ドル	米国	1.4
10	IMPINJ INC	半導体関連	米ドル	米国	1.4
組入銘柄数			118 銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

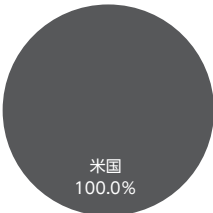
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国を表示しています。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2025年11月25日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えばこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。